

令和5年度 人権教育の年間指導計画
江戸川区立篠崎第四小学校

1年

【年間計画作成のための留意点】

- 各教科等の目標や内容をふまえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力しあって学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置づける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育の目標に関わる学級の目標を設定する。		自分の大切さを認めることを中心とした指導			他の人の大切さを認めることを中心とした指導				互いの大切さを認めることを中心とした指導		
各教科・読書科	国語「なかよしの き」「たのしい いちにち」 楽しい学校生活をするための基本となる、あいさつや自己紹介ができる。		国語「みつけて はなそう たのしく きこう」 学校生活の中で、見たことやしたことを話したり聞いたりする。			国語「なつのおもいでをはなそう」 夏休みにしたことを絵に描き、絵をもとに友達と話し合う。		国語「ころぼかぼか 手がみをかこう」 相手の気持ちを考え、自分の気持ちが伝わるように、丁寧な言葉を使って手紙を書く。			国語「お手がみ」◎手紙を待つがまくん、手紙を出したかえるくん、その二人の様子や気持ちを想像しながら読む。	
	生活「どきどきわくわく1ねんせい」 みんなで歌ったり、遊具で遊んだり、自己紹介をしたりする活動を通して、クラスメートと友達になるとともに、これからの小学校生活や教科学習への意欲をもつことができる。		国語「せんせい あのね」 知らせたいことを相手がわかるように文に書いて知らせ合う。 生活「あさがおをそだてよう」 植物を大切に育てる。			生活科見学 公共機関の使い方を学ぶ。 動物や植物に触れ、生き物を大切にすることを育てる。						
特別の教科道徳	愛校心 学校生活の楽しさを感じるとともに、ルールを守ったり進んで生活したりすることでより楽しい生活にしようとする態度を育てる。	礼儀 気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などを心がけて、明るく接する。	生命尊重 身近な生き物の誕生や成長の様子を見つめ、生き物の命を大切にしようとする心情を育てる。	尊敬感謝 身近な人々が自分に對して様々な愛情や善意を抱いて接していることがわかり、その人々に感謝の気持ちをもとうとする心情を育てる。		親切 お年寄りや困っている人に思いやりの心を持ち、親切にしようとする心情を育てる。	自然愛・動植物愛護 動植物の身になって優しくすることを知り、身近な自然を大切にしようとする」実践的意欲を養う。	家族愛 父母を愛し、家族のことを大切にしようとする気持ちを育てる。	尊敬・感謝 お世話になっている人に感謝する気持ちを育てる。	友情 友達同士、仲よく助け合おうとする気持ちを育てる。	生命尊重 動植物すべてのものに命があることに気づかせ、自分の命を大切にしようとする心情を育てる。	国際理解「外国人」 身近な行為である挨拶を通じて、他国の人々とコミュニケーションをとろうとすることができるようになる。
特別活動	1年生を迎える会 1年生に歓迎の気持ちを伝える。		ふわふわことばを考えよう 相手の気持ちによりそった言葉遣いを考える。		全校たてわり班活動(なかよし班遊び)							
	なかよし班ロング集会 縦割り班で遊び、交流を深める。											
	なかよし班遊び よりよい人間関係を築く態度を養う。											
その他・保護者・地域との連携	おはなし隊(保護者ボランティア)による読み聞かせ											
	保護者会・個人面談 家庭と連絡を取り、児童の実態を把握する。		ふれあい月間 道徳授業地区公開講座 道徳教育の取り組みと大切さを伝え連携をとる。				個人面談 家庭と連絡を取り、児童理解を深める。	ふれあい月間			ふれあい月間	保護者会 家庭と連絡を取り、児童の実態を把握する。

『 』 = 個別的な視点からの視点(『 』は人権課題) ⇄ = 関連的な指導 □ = 「自己理解・他者理解を図ること」を重点とした指導

令和5年度 人権教育の年間指導計画
江戸川区立篠崎第四小学校

2年

【年間計画作成のための留意点】

- 各教科等の目標や内容をふまえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力しあって学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置づける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育の目標にかかわる学級の目標を設定する。		自分の大切さを認めることを中心にした指導をする。			他の人の大切さを認めることを中心にした指導をする。				互いの大切さを認めることを中心にした指導をする。		
各教科・読書科	国語「手紙を書いてつたえよう」 自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。 書いたものを読み合い、良いところを見付けて感想を伝え合うこと。		生活科「町探検」 自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。			国語「町のすてきをつたえます」 語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと。 書いたものを読み合い、良いところを見付けて感想を伝え合うこと。	生活科見学 公共機関の使い方を学ぶ。 動物や植物に触れ、生き物を大切にすることを育てる。	国語「ないた赤おに」 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。 文章の内容と自分の経験を結びつけて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。	国語「クラスのお楽しみ会をひらこう」 大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞くこと。 互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うこと。	国語「かさこじぞう」 昔話や神話・伝承などの本や文章の読み聞かせを聞いたり、発表し合ったりすること。	生活科「一年生との交流」 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊びに使うものを工夫してつくり、そのおもしろさや自然の不思議さに気付き、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。	国語「アレクサンダーとぜんまいねずみ」 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。 文章の内容と自分の経験を結びつけて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。
	生活科「学校探検」 学校の施設の様子及び先生など学校生活を支えている人々のことを身近な人々に伝えあう活動を行い、進んで交流することができるようにする。		生活科「生きものをかおう」 動物を飼ったり、植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気付き、生き物への親しみをもち大切にできるようにすることができるようにする。			体育「表現リズム遊び」 運動に進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。		生活科「町探検」 自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。		体育「ゲーム」 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動したり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。		
										生活科あしたへジャンプ(自分史づくり) 自分自身の成長を振り返り、多くの人々の支えにより自分が大きくなったこと、自分ができるようになったこと、役割が増えたことなどが分かり、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつとともに、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活することができるようにする。		
特別の教科 道徳	誠実・明朗 うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活しようとする態度を養う。	友情・信頼 学校生活を共に過ごす友達 の存在について考え、友達と仲よく活動し、助け合って過ごそうとする心情を育てる。	生命尊重 かけがえのない生命に気付き、生命あるものを大切にすることの心情を育てる。	公德心・規則の尊重 みんなのことを考えて、公共のきまりや約束を守ろうとする心情を育てる。		家族愛 自分のわがままをおさえ、家族の気持ちを考えることの大切さが分かり、進んで家族のためになることをしようとする気持ちを育てる。	友情 友達のよいところに目を向けて、互いに助け合っていくことの大切さが分かり、どんな場面でも友達と仲よくしていくこととする気持ちを育てる。	生命尊重 生命は一つしかなく、両親に授かったかけがえのない大切なもので、支えられた自分の命を大切にしたいこととする心を育てる。	愛校心 先生や学校の人々に親しんで楽しい学校生活を送ろうとする態度を養う。	家族愛 父母を大切にし、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つ喜びを自覚させる。	尊敬・感謝 日ごろ世話になっている人々に感謝の気持ちをもって接しようとする態度を育てる。	
特別活動	1年生を迎える会 1年生に歓迎の気持ちを伝える。								ユニセフ募金 世界の子供たちの実情を知り、協力し		6年生を送る会 6年生に感謝の気持ちを表す。	
	全校なかよし班遊び(たてわり班活動)											
	なかよし班遊び よりよい人間関係を築く態度を養う。											
その他・保護者・地域との連携	おはなし隊(保護者ボランティア)による読み聞かせ											
	保護者会・家庭訪問 家庭と連絡を取り、児童の実態を把握する。		ふれあい月間 道徳授業地区公開講座 道徳教育の取り組みと大切さを伝え連携をとる。					個人面談 家庭と連携を取り、児童理解を深める。	ふれあい月間	保護者会 家庭と連絡を取り、児童の実態を把握する。	ふれあい月間	保護者会 家庭と連絡を取り、児童の実態を把握する。

『 』＝個別的な視点からの取り組み(『 』は人権課題) ⇄ ＝関連的な指導 □＝「自己理解・他者理解を図ること」を重点とした指導

令和5年度 人権教育の年間指導計画
江戸川区立篠崎第四小学校

3年

- 【年間計画作成のための留意点】
- 各教科等の目標や内容をふまえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
 - 普遍的な視点からの取組と個別的視点からの取組を指導計画に位置付ける。
 - 各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
 - 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力しあって学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置づける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育の目標に関わる学級の目標を設定する。		自分の大切さを認めることを中心とした指導をする。			他の人の大切さを認めることを中心とした指導をする。				互いの大切さを認めることを中心とした指導をする。		
各教科・読書科			国語「宝物をしようかいしょう」 目的に応じて理由をあげて筋道立てて話すことや友達の発表を聞く能力を身に付ける。			国語「手紙を書いて伝えよう」 相手や目的に応じ、言葉遣いや段落相互の関係などに注意して文章を書く。		「わすれられないおくりもの」 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて叙述を基に想像する力を身に付ける。		国語「川をさかのぼる知恵」 段落のつながりに気をつけながら写真と文章を結び付けて読み、考えたことをまとめる。	国語「強く心に残っていることを」 身近な生活の中から題材を見つけ、中心になる場面をはっきりさせて書く。書いた文章の感想	国語「おにたのぼうし」 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いがあることを理解する。
特別の教科 道徳	友情・信頼・助け合い 相手の身になって考え、信頼し助け合おうとする気持ちを育てる。	規則の尊重・公徳心 人々の気持ちを理解し、社会の決まりや守って、気持ちよく正しく生活しようとする態度を育てる。	友情・信頼・助け合い だれでも仲よくし、助け合おうとする心を育てる。	思いやり・親切 困っている人を見かけたら、自分のことよりも先に、喜んで他者を思いやる行為を実践しようとする態度を育てる。		思いやり・親切 相手の気持ちや立場を思いやり、進んで親切にしようとする心情を育てる。	勤勉・努力・忍耐 自分でやろうと決めたことは、粘り強く最後までやりとげようとする態度を育てる。	生命尊重 自分の生命の尊さに気づき、他の人の生命も同じように大切にしようとする心情を育てる。	勤勉・努力・忍耐 自分でやろうと決めたことは、最後までやり遂げようとする心を育てる。	礼儀 互いに気持ちよく過ごすためには、礼儀が必要であることを知り、礼儀正しくしようとする心を育てる。	個性伸長 自分の特徴を知って、良い所を積極的に伸ばそうとする心情を育てる。	勤労 自分にできることを考え、進んで人の役に立とうとする態度を養う。
総合的な学習の時間	「町探検をしよう」 自分たちの町の様子、施設や設備を探検し調べることで、その設備や施設がなんのためにあるのかを考え、町には自分たちだけでなくいろいろな立場の人が住んでいることに気づき、人を思いやる心情を育てる。					「篠崎のお祭りを調べよう」 地域に伝わる祭りを調べることを通して、地域の人々の願いや思い、地域への愛着の心を育て、自分からすすんで関わろうとする心情を育てる。		「ふれあい給食をしよう」 日ごろからお世話になっている地域の方を給食に招待し、感謝や礼儀の心情を育てる。		「篠四クリーン作戦」 自分が住む地域の清掃を通して、相手を思いやる気持ちやボランティア精神を育てる。		
特別活動	1年生を迎える会 1年生に歓迎の気持ちを伝える。		自分の良い所・友達の良い所を見つけよう					相手の安全を守る自転車の乗り方を考えよ		自分の良い所・友達の良い所を見つけよう(まとめ)	6年生を送る会 6年生に感謝の気持ちを表す。	
その他・保護者・地域との連携	全校たてわり班活動											
	なかよし班遊び よりよい人間関係を築く態度を養う。											
その他・保護者・地域との連携	保護者ボランティアによる読み聞かせ											
	保護者会・個人面談 家庭と連絡を取り、児童の実態を把握する。		ふれあい月間 道徳授業地区公開講座 道徳教育の取り組みと大切さを伝え連携をとる。					ふれあい月間	個人面談 家庭と連携を取り、児童理解を深める。		ふれあい月間	保護者会 家庭と連絡を取り、児童の実態を把握する。

『』＝個別的な視点からの視点(『』は人権課題) ⇄ =関連的な指導 〓 =「自己理解・他者理解を図ること」を重点とした指導

令和5年度 人権教育の年間指導計画
江戸川区立篠崎第四小学校

4年

【年間計画作成のための留意点】												
○ 各教科等の目標や内容をふまえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。												
○ 普遍的な視点からの取組と個別的視点からの取組を指導計画に位置付ける。												
○ 各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。												
○ 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力しあって学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置づける。												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育の目標にかかわる学級の目標を設定する。		自分の大切さを認めることを中心にした指導をする。			他の人の大切さを認めることを中心にした指導をする。				互いの大切さを認めることを中心とした指導をする。		
各教科・読書科	国語 「白いぼうし」 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化・情景などについて、叙述を基に想像して読む能力を身に付ける。			保健体育 「育ちゆく体とわたし」 健康な生活及び体の発育・発達について理解し、身近な生活において健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。		国語 「一つの花」 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化・情景などについて、叙述を基に想像して読む能力を身に付ける。 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気づく。	国語 「ごんぎつね」 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化・情景などについて、叙述を基に想像して読む能力を身に付ける。 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気づく。		国語 「便利ということ」 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読む能力を身に付ける。	国語 「自分の成長をふり返って」 相手や目的を意識して、経験したことや創造したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にする。		
	理科 「季節と生き物」 生物を愛護する態度を育て、動物の活動や植物の成長と環境のかかわりについて見方や考え方をもちつことができる。						理科 「季節と生き物」 生命の連続性について考えることができる。					
特別の教科 道徳	友情・信頼、助け合い 友達どうしがお互いを理解し、信頼して、助け合おうとする気持ちを育てる。	思いやり・親切 お年寄りや困っている人に対する思いやりの気持ちを、積極的に伝えようとする心を育てる。	自然愛・動植物愛護 自然のすばらしさにふれ、自然や、動植物を大切にしようとする気持ちを育てる。	思いやり・親切 相手の気持ちを思いやり、親切にしようとする心情を培う。		友情・信頼、助け合い 友だちと励まし合い、助け合って、友情を深めていこうとする心情を育てる。	愛国心 外国の人々やその文化に関心をもつだけでなく、自分の国の伝統や文化を大事にすることに気づき、自らの国を大事にしようと思う心情を育てる。	友情・信頼、助け合い 『子ども』 友だちの気持ちや立場を理解し、助け合っていこうとする心情を育てる。	思いやり・親切 相手の立場や気持ちを理解して、進んで親切にしようとする心情を育てる。	生命尊重 生命の尊さを知り、生命あるものを大切にしようとする心情を育てる。	個性伸長 自分のことをよく知り、よいところを伸ばそうとする態度を育てる。	個性伸長 友達のよい所悪い所を教え合うことにより、だれにでも長所や短所があり、じぶんの特徴を知って長所を積極的に伸ばそうとする心情を育てる。
総合的な学習の時間		「広げよう！ふれあいの輪」 『障害者』 インターネットや書籍でバリアフリーやユニバーサルデザインについて調べたり、出前ボランティア体験をしたりすることを通し、町の中には、障害者やお年寄りにとって便利な施設や設備があることに気づかせる。				「障害者スポーツについて調べよう」『障害者』『外国人』 パラリンピックについて調べることで障害者スポーツに興味をもち、人を思いやる心情を育てる。また、そこから発展して、町に住むみんなが、暮らしやすくなるためにはどうすればよいのかを考え、互いに助け合って共に生きていく心情や態度を育てる。						
特別活動	1年生を迎える会 1年生に歓迎の気持ちを伝える。								ユニセフ募金 世界の子供たちの実情を知り、協力し	6年生を送る会 6年生に感謝の気持ちを表す。		
	全校たてわり班活動(なかよし班活動)											
	なかよし班ロング集会 縦割り班で遊び、交流を深める。											
その他・保護者・地域との連携	なかよし班遊び よりよい人間関係を築く態度を養う。											
	しのよんお話し隊(保護者ボランティア)による読み聞かせ											
	保護者会・個人面談 家庭と連絡を取り、児童の実態を把握する。	ふれあい月間 道徳授業地区公開講座 道徳教育の取り組みと大切さを伝え連携をとる。						ふれあい月間	個人面談 家庭と連携を取り、児童理解を深める。		ふれあい月間	保護者会 家庭と連絡を取り、児童の実態を把握する。

『』＝個別的な視点からの視点(『』は人権課題) ⇄ =関連的な指導 □ =「自己理解・他者理解を図ること」を重点とした指導

令和5年度 人権教育の年間指導計画
江戸川区立篠崎第四小学校

5年

【年間計画作成のための留意点】

- 各教科等の目標や内容をふまえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力しあって学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置づける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育の目標に関わる学級の目標を設定する。		自分の大切さを認めることを中心にした指導をする。			他の人の大切さを認めることを中心にした指導をする。				互いの大切さを認めることを中心にした指導をする。		
各教科・読書科	国語「言葉で伝え合おう」 自分の考えと友達の考えの共通点や違う点に気を付けて聞いたり、話の内容を整理して話したりする力を身に着ける。	外国語「世界のいろいろなあいさつをしよう」 外国の様々なあいさつをすることを通し、外国語を用いたコミュニケーション能力の基礎を養う。		理科「生命のつながり」「人のたんじょう」 メダカやヒトのたんじょうするまでの過程や生命の連続性を知ることを通して、生命を尊重する態度を身に付ける。		国語「大造じいさんとがん」 大造じいさんの行動や心情の変化について読み取り、自分の言葉でまとめる力を身に付ける。		国語「AIとくらし」 立場を決めて話し合い、事実と感想、意見を区別して伝える内容を聞き取ることを通して、的確に話すことや話し手の意図をとらえながら聞く能力を身に付ける。		社会「情報を生かすわたしたち」 情報がわたしたちの生活に大きな働きをしていることをつかみ、情報の活用の仕方が重要であることを理解する。 『インターネットによる人権侵害』	国語「みすゞがしの旅」 金子みすゞの作品のいくつかを読み、そこにみられる金子みすゞの作品に込められた思いを読み取り、特徴を、自分の言葉でまとめる力を身に付ける。	
特別の教科 道徳	公正・公平 だれに対しても差別や偏見をもつことなく、公正・公平に接しようとする態度を育てる。 『子供』	国際理解 外国の人々や文化を大切にすることを、世界の人々と親善に努めようとする心情を育てる。	公徳心 インターネットを活用する上で守るべきルールについて考え、自他の権利を大切にしようとする心情や態度を育てる。 『インターネットによる人権侵害』	生命尊重 生命の尊さを理解し、生命を大切に力強く生きようとする態度を育てる。		親切 だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立つて親切にする。	謙虚・寛容 謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にしようとする心情を育てる。	国際理解 外国の人々や文化を理解し、日本人としての自覚をもって世界の人々と親善に努めようとする気持ちを育てる。		尊敬・感謝 日常生活が、たくさんの方々の思いによって支えられていることに気づき、その思いに応えようとする態度を養う。	寛容・謙虚 広い心で相手の立場を考え、自分と異なる意見も大切にしようとする気持ちを育てる。	礼儀 時と場合を弁えた礼儀作法について理解を深め、相手の立場に立ち真心をもって接していこうとする態度を育てる。
総合的な学習の時間	世界のkitchenから インターネットや書籍で、世界の国々の食事について調べ、食文化の違いに気付かせる。								めざせ！ウィンタースクール 自然や、集団生活におけるきまりを学び。自然に対する愛着や、仲間との協力、思いやりの態度を養う。			
特別活動	1年生を迎える会 1年生を歓迎する気持ちを伝える。								ユニセフ募金 世界の子供たちの実情を知り、協力し	6年生を送る会 6年生に感謝の気持ちを表す。		
	全校たてわり班活動(仲良し班活動)											
	なかよし班ロング集会 縦割り班で遊び、交流を深める。											
	なかよし班遊び											
その他・保護者・地域との連携	しのよんお話し隊(保護者ボランティア)による読み聞かせ											
	保護者会・個人面談 家庭と連絡を取り、児童の実態を把握する。	ふれあい月間 道徳授業地区公開講座 道徳教育の取り組みと大切さを伝え連携をとる。				個人面談 家庭と連携を取り、児童理解を深める。	ふれあい月間			ふれあい月間	保護者会 家庭と連絡を取り、児童の実態を把握する。	

『』=個別的な視点からの視点(『』は人権課題) ↔ =関連的な指導 □ =「自己理解・他者理解を図ること」を重点とした指導

令和5年度 人権教育の年間指導計画
江戸川区立篠崎第四小学校

6年

【年間計画作成のための留意点】

- 各教科等の目標や内容をふまえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力しあって学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置づける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育の目標にかかわる学級の目標を設定する。		自分の大切さを認めることを中心にした指導をする。			他の人の大切さを認めることを中心にした指導をする。				互いの大切さを認めることを中心にした指導をする。		
各教科・読書科	国語「あの坂を登れば」登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉え、人物像や物語などを想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。		国語「地域の防災について話し合おう」相手の立場に立ち、意見の違いを大事にしなが話し合い、考えを深める。	国語「川とノリオ」物語の反復や情景などの描写を元に、登場人物の心情をとらえ、工夫して音読する。時代背景を理解するとともに、筆者の平和への思いを通して、命はかけがえのないものであるという心情を養う。		国語「パネルディスカッションをしよう」話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べて考えをまとめる力を身に付ける。	国語「ぼくの世界、きみの世界」自己と他者の考えの違いを意識しながら、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえて読む力を身に付ける。		社会「わたしたちの願いを実現する政治」国民主権の考え方から、政治は国民の生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを知る。	社会「わたしたち暮らしと日本国憲法」日本国憲法における基本的人権の考え方について知り、それを尊重する意識を高める。『子供』	国語「広がる言葉」考えたことを発表し合い、自らの生き方を肯定的にとらえるとともに、自分の考えを明確にしなが読む力を身に付ける。	
			社会「江戸幕府の政治」戦国の世が統一され、身分制度が確立したことや、差別された人々がいたことを知り、理解を深める。『アイヌの人々』	保健「病気の予防」病原体が主な原因となつて起こる病気の予防方法を知るとともに、HIVやその感染者に対する理解を深める。『HIV感染者等』	理科「生物とその環境」生物の間には、食う食われるという食物連鎖の関係があることを知るとともに、生命を尊重したり環境を保全したりする態度を養う。	社会「江戸の文化と新しい学問」伊能忠敬について知るとともに、虎松の祖父が解剖を手伝ったことから、蘭学の発展の裏には差別された人々の働きや知識があったことを知る。『岡和問題』	社会「世界に歩みだした日本」人々の民主主義への意識が高まり、普通選挙や女性の地位向上、差別撤廃を目指す運動が起こった。				社会「日本とつながりの深い国々」日本と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活の様子を知るとともに、自国や諸外国の伝統や文化を尊重しようとする態度を養う。『外国人』	理科「生物とその環境」食物連鎖や水・空気の循環などから、生命を尊重したり環境を保全したりする態度を養う。
特別の教科道徳	公正・公平、正義いじめに対する考えを深め、だれに対しても差別や偏見をもつことなく公正、公平の大切さを自覚し、社会正義の実現に努めようとする気持ちを育てる。『子供』	生命尊重生命がかけがえのないものであることを知り、生きている幸せを感じて精一杯生きていこうとする態度を育てる。	希望、勇気生命の尊さを考え、たとえどんな苦難に直面しても、生きていることのすばらしさを胸に、強く生き抜こうとする態度を養う。	寛容・謙虚自分とは異なる立場の意見にも謙虚に耳を傾け、広い心でお互いを認めようとする心を培う。		寛容・謙虚相手の立場や気持ちを考え、広い心で人の過ちを許そうとする心情を育てる。	友情・信頼友達同士の相互の信頼のもと、互いに磨きあい、高め合うような真の友情を認識し、それを大切に育んでいこうとする気持ちを養う。	思いやり・親切だれに対しても思いやりの心を持ち、人の立場に立って考え親切にしようとする心を育てる。	向上心、個性伸長自分のよさに気づき、それを伸ばし生かそうとする態度を育てる。	国際理解、親善世界の中での日本と日本人の置かれている立場を知り、世界の人々や文化と積極的に関わろうという意欲を育てる。『外国人』	思いやり・親切思いやりの心を持ち、よく考え、相手の立場に立って接しよう	向上心、個性伸長自分には自分らしいすばらしい力があることに気づき、その力を伸ばそうとする心情を育てる。
総合的な学習の時間		めざせ！日光移動教室日光林間学校で行く地域についての調べ学習を行い、その地域の特徴や環境、歴史について理解を深める。				発見！世界のトップアスリート日本や世界のトップアスリートについて調べる活動を行い、興			日本と世界の文化を調べよう日本や世界の文化について調べ活動を行い、国際理解につなげると共に、日本と異なる習慣や文化をもつ人々への差別や偏見の解消について考える。『外国人』			
特別活動	1年生を迎える会1年生に歓迎の気持ちを伝える。		1年生と交流しよう1年生の手伝いや遊びを通して、よりよい人間関係を築く。						ユニセフ募金世界の子供たちの実情を知り、協力し合うことの大切さを学ぶ。	6年生を送る会在校生に感謝の気持ちを表す。		
	全校たてわり班活動(なかよし班遊び)											
	なかよし班ロング集会縦割り班で遊び、交流を深める。											
その他・保護者・地域との連携	なかよし班遊び											
	おはなし隊(保護者ボランティア)による読み聞かせ											
	保護者会・個人面談家庭と連絡を取り、児童の実態を把握する。		ふれあい月間道徳授業地区公開講座道徳教育の取り組みと大切さを伝え連携をとる。			個人面談家庭と連携を取り、児童理解を深める。	ふれあい月間			ふれあい月間	保護者会家庭と連絡を取り、児童の実態を把握する。	

『』＝個別的な視点からの視点(『』は人権課題) ⇄ ＝関連的な指導 □ ＝「自己理解・他者理解を図ること」を重点とした指導